

編集後記

早いもので本紀要も一〇号となる。

創刊当時は、まさかここまで続けられるとは想像もしていなかった。これも今までご協力いただいた多くの方々のおかげである。この場を借りて御礼申し上げる。

「大学史は常に巣立っていった卒業生を意識して、その目線に向けていかなければならない」、これは前専修大学史編集主幹の青木美智男先生がよく口にしていた言葉である。今号でも卒業生の回顧録などを掲載することができたが、次号以降もこの「初心」を忘れずに、大学史の編纂に取り組んでいきたい。今後とも皆様のご支援、ご協力をお願いする次第である。

(大学史資料課)